

情勢報告

**芸西・土佐あきをまるごと売りだそう
～26 年度 J A 土佐あき消費拡大連絡協議会芸西支部総会～**



26 年度芸西支部総会より

5 月 29 日に、発足後初めての芸西支部通常総会が JA 芸西支所で生産者、JA、芸西村、園芸連、振興センター等から 14 人が集まり開催されました。

初年度の活動計画は、これまでの園芸研究会事業と協議会が連携した形でスタートし、園児の収穫体験、食育活動、芸西フェスタへの出展等が承認されました。女性部から「ナスカレーにトマトが大量に必要」などの意見があり、具体的な話まで議論が進みました。

振興センターは地元の農産物や食材の PR・消費拡大に向けて積極的な支援を行います。

アザミウマ類防除に有効な技術を検証！～唐浜ピーマン部会～



メタリジウム菌の施用試験

唐浜集出荷場ピーマン部会（赤ピーマン）では品質低下の原因となるアザミウマ類被害を抑えるため、昨年度から IPM 技術の確立に取り組んでいます。今年度は新しい天敵製剤のクロヒョウタンカスミカメと昆虫寄生菌であるメタリジウム菌によるアザミウマ類防除効果を検証する計画で、同部会協力の下、振興センターが中心となって実証圃を設置し、6 月 2 日から調査を開始しました。

今後も振興センターは部会とともに J A、民間企業や県の関係機関と連携して IPM 技術の確立に向けて取り組みます。

集落営農組織を法人化するってどういうこと？ ～法人化勉強会～



これからの機械の更新を考えたら・・・

6 月 5 日、「集落保全営農組織 平・花田」は、集落営農組織法人化の勉強会を行い、11 人が参加しました。

高知県農業会議から講師を迎え、集落営農組織を法人化した場合のメリットやデメリット、任意組織との違いなどについて説明を受けました。組織員から労災保険への加入や従事分量配当などの質問が出され、今後も法人化について勉強していきたいという意見もあり、有意義な話し合いができました。

振興センターは、組織内の合意のもと、役員会の開催を促し、法人化の検討など計画に沿った組織運営ができるよう支援します。

いろいろな花がある安田町中山地区の花き巡回



スリップスがおりますねえ

6月9日、JA 土佐あき花き担当者とともに安田町中山地区の花き農家4戸を巡回指導しました。

振興センターからは、被害は見られないものの、ダニやスリップス、カメムシの卵が見られること、またこれから本格的な梅雨になることから病害虫対策を中心に指導しました。

農家からは「スリップスは見えんけど、もっと頻繁に巡回してもらいたい」「新しい花の栽培方法を教えて」等、意欲的な意見が出ました。

振興センターでは、JA とともに最低でも毎月1回の巡回を行い、品質向上に向けた支援をします。

JA 土佐あき柚子部東川支部 勉強会の開催



これからの管理は何が大事？

6月10日、JA 土佐あき柚子部東川支部で、生産者14人が参加して勉強会が開催されました。

振興センターからは、今年の気象状況や病害虫、カラーリングマニュアルについて情報提供・説明を行いました。

生産者からは、「今年は害虫が多い気がする」「カラーリングする際のサンテは、なぜ部位ごとに色が違うのか？」などの意見・質問が出されました。

今後も、振興センターはJA と連携し、カラーリングを取り入れた青果の周年安定出荷への取り組みを支援・推進します。

出荷ラストスパート！ ～羽根集出荷場営農相談～



今年の作は難しかった

振興センターとJA 土佐あき芸東営農センターは6月10日に、26園芸年度最後の「羽根集出荷場営農相談日」を開催しました。33人のナス農家を対象に、今園芸年度の気象条件や栽培を振り返る資料を配布し、次園芸年度の栽培について改善点を考えてみようという呼びかけを行いました。また病害防除のための土壌消毒の徹底も合わせて呼びかけ、「今年も1か月は蒸し込む」という農家の声がありました。

今後は、7月2日の反省会で、今作の問題点や来作の取り組みについて提案し、実証試験等の計画内容を決定する予定です。

JA 土佐あき柚子部北川支部 青果研究会〔勉強会〕の開催



勉強会の様子

6月12日、JA 土佐あき柚子部北川支部青果研究会で生産者15人が参加して勉強会が、開催されました。

振興センターからは、今年の気象状況や注意すべき病害虫などについて情報提供等を行いました。北川村では今年、訪花昆虫が多く見られたこともあり、「その虫はいつ頃まで活発に活動するのか？」「害虫に効果的な薬の散布タイミングは？」など、活発に質問・意見が出されました。

振興センターでは、今後もJA と連携して、生産者の青果率向上・品質のワンランクアップに向けた取り組みを支援します。

今年が良い酒米つくるぞ！ ～6月に現地検討会～



除草剤を上手に使ううちゅうねえ

安芸市東川酒米研究会では毎年9月に1回行っていた現地検討会を今年から毎月行うことに決め、6月16日に9人が参加して開催されました。

昨年度は高温障害やウンカにより平年の6割ほどしか収量が採れなかったため、参加者からは熱心に意見や質問が出されました。

振興センターからは、除草剤の効果的な使用法、少しでも暖かい用水の確保の仕方等、栽培管理方法を指導しました。

今回の現地検討会は7月16日を予定していますが、振興センターでは事前にJAと協力して葉色調査を行い、結果を全員で共有し、生育状況等を確認して収量増に向けた支援を行います。